

温故創新

豊中らしさを創る

無所属 33歳

豊中市議会議員



33号です。ホームページでバックナンバーを掲載していますので、ぜひご覧ください。

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

まつおかあきみち

松岡信道と、もっと豊中市！

信長が建てた刀根山城。

NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」

ドラマの舞台は姫路市ですが、豊中市との縁を紹介します。主役の黒田官兵衛は織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の天下取りに貢献した武将です。

官兵衛が33歳の時、信長に対して謀反を起こした有岡城（伊丹市）城主・荒木村重に翻意の説得を試みましたが、捕まって土牢へ幽閉されました。帰らない官兵衛に対して、信長は官兵衛にも裏切られたと思い、荒木村重の討伐に乗り出します。

刀根山御坊豊嶋山常楽寺

信長は荒木村重討伐のため、刀根山御坊に城郭を築きました。現存する常楽寺の境内地が刀根山城跡であり、その由緒書も残されています。豊中市史によると、信長本人が来城し、指揮をとったそうです。信長の軍勢は、有岡城の東に位置する原田城（現在の原田しろあと館）を出城として荒木村重を討伐し、官兵衛を救出しました。

史実に基づく町のPRを

隣の伊丹市では、こうした史実をもとに大河ドラマにあやかっけて、「いたみ官兵衛プロジェクト」を進めています。伊丹市が黒田官兵衛を幽閉した町なら、豊中市は救出した町です。消防本部が高度救助隊を擁している豊中市ですから、もっとPRが必要です。

学校、校区は誰のものか。

少子化と小・中学校の数

豊中市には41の小学校と18の中学校があります。高度経済成長、千里ニュータウンの開発など、人口ボーナス期（参考…温故創新32号）に建設してきました。しかしながら、子どもの数はピーク時の半分となっています。

また、市内の高齢化率は36.7%、14.7%と地域間で大きな格差を生んでおり、クラス替えのできない学校がある一方で、教室の足りない学校も存在します。

暮らしている影響がある校区

学校には適正な規模があり、子どもたちの教育のために校区を決めます。中野区では10年以上前から、少子化社会における小・中学校の適正な規模と数を定め、統廃合を進めています。しかしながら、夏祭りや運動会、歳末夜警などの地域行事、高齢者の見守りや青少年の健全育成などの活動が校区単位で行われており、校区は暮らしに大きく関わります。豊中市へ子育て世代を誘致し、市内格差の解消が先決です。

不可解な学校教育審議会

こうした議論は、教育委員会の諮問機関である学校教育審議会が進められましたが、市内格差の是正、小・中学校の適正数や暮らしの議論はありませんでした。それどころか、一度も出席していない委員がいたり、議論されない

い地域があったり、座長の発言が全体の6割近くを占めるなど、審議会運営に問題点が多いことを指摘しました。

将来を見据えた審議会とは言い難く、場当たりの答申が示されたことは残念です。地域別に子育て施策を展開し、市内格差を解消しながら、少子化社会での小・中学校の適正数を見据えて取り組まなければいけません。

看護専門学校之急展開。

行財政改革になかった閉校

豊中看護専門学校の赤字補てんに一億円を超える公費負担があることを指摘し、今後のあり方について問題提起して、看護師確保の点から市立病院付属とするように求めてきました。

看護師確保について問題なし

しかしながら、今後のあり方を検討した結果、27年度の新入生募集を最後として閉校する見通しになりました。閉校について、健康福祉部は社会全体として看護師不足の解消が進むこと、市立豊中病院は大学など様々な看護師養成機関の中から優秀な人材を確保したいことを理由に挙げました。こうした議論の末、看護専門学校を運営する財団が結論を出しました。

行財政改革として問題提起してき

ましたが、閉校という結論には驚きました。少し先にはなりますが、年間一億円を超える財政削減が実現します。

動画による情報配信をはじめしています。ホームページ(<http://matsuoka-akimichi.net>)より、akimiChannel をご覧ください。

メールマガジンを発行しています。ご希望の方は office@matsuoka-akimichi.net までお知らせください。

とよなか創政記

豊中市のおもてなし

流行語大賞にもなった「おもてなし」ですが、日本人の心を的確に形容していると思います。そうした心が豊中市政にだけあるでしょうか。

東京オリンピックに向けて

豊中市は高校スポーツ発祥地としてPRしています。高校生の野球、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールの第一回全国大会は、豊中球場で行われました。その後、甲子園、国立花園などへ開催地は分散していきましたが、豊中市がスポーツ都市であることを「今は昔の物語」にしてはけません。豊中市はオリンピックにむけるように、報奨金制度や表彰制度を拡充したり、トップアスリートと子どもたちの交流を図り、スポーツ振興につながる施策を進めていきます。

※ご意見ご感想をお聞かせください。

TEL:06-7178-7785 (携帯転送)

FAX:06-6871-0632 (事務所)

Mail:office@matsuoka-akimichi.net

市議会控室：豊中市中塚3-1-1

※せいかくご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしゃいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。

※市議会会派：温故創新として編集、発行しており、お問い合わせは上記までお願いいたします。なお頒布にあたっては、政務活動費の一部を利用させていただきます。

ブログ、mixi、twitter(matsuokaakimich)に加え、facebookでも情報発信中！みなさんのフォローをお願いします。

スポーツ行政は教育委員会が所管していますが、市長部局のもとで一括して推進することが望ましく、機構改革の必要性について提言しています。

豊中市の窓口対応

「役所の窓口対応はよくない」と苦情をいただきますが、市の業務は商売ではないので「いらっしやいませ」というようなお客様対応は違和感があります。しかしながら、市の職員は市民の代理人であって、税負担をいただきながら個人情報管理などの業務をしているわけですから、「おはようございます」などの接遇向上は至極当然です。

豊中市は窓口サービス基本方針を策定し、窓口での接遇を心がけています。最近では、市長に「窓口対応が親切であった」と手紙が送られるなど、接遇向上の兆しがかがえます。「おもてなし」の心で、市民のみなさんの来庁をお待ちしております。



【略歴】

市立 しんでん幼稚園
市立 南丘小学校
市立 第九中学校
府立 北野高等学校
同志社大学法学部政治学科
大阪府信連職員(JAバンク大阪)

【現在】

2007年 最年少で初当選 (2,791票)
2011年 第二位で当選 (5,457票)
文教常任委員会
空港問題調査特別委員会
(主なボランティア)
豊中ラグビースクール
豊中地区BBS会(更生保護活動)
豊中青年会議所

温故創新を受け取ってください。記事のリクエストがあれば教えてください。また受け取ってくださいね。

フィルム・コミッション

豊中市がドラマや映画の撮影地に使われていることは、あまり知られていません。朝のNHK連続ドラマ「ウエルカム」が本町にある室田とうふ店を、同じく「てっぱん」が原田神社をロケ地にしました。亡くなった女優の田中好子さん最後の主演映画「0からの風」には、千里中央の大丸プラザ前の陸橋が使われました。その他にも「砂の器」が桜塚公園、「がんばっていきまっしょい」が千里阪急ホテル、「ラブファイト」が服部緑地や仏光幼稚園、豊中が舞台となった「ふぞろいのイレブン」などがあります。

ロケ地誘致や撮影支援に取り組む自治体や観光協会をフィルム・コミッションと言います。豊中市は空港、新幹線からアクセスがよく、ニュータウン、下町、商店街や民家集落など、色んな風景があります。ロケ地を誘致して豊中への観光が増加すれば、市内は

【お願い】

- ・「松岡あきみち」の看板(緑色、150cm×40cm)を入通りのある、目立つところに設置してください。よろしく願いたします。
- ・この温故創新を、お住いの向う三軒両隣、マンションの集合ポストに配布してください。少数でも結構です、よろしく願致します。
- ・活動経費として、皆様からのカンパをいただければ幸いです。ビール1杯、スイーツ1皿分で結構です、ご支援をよろしく願致します。

【お知らせ】

・3月29日(土)10時～蜷池事務所にて、市政懇談会を開催します。みなさんのご意見をお聞かせください。

松岡あきみちを応援していただける、ミカタを募集しております！

ふりがな
氏名

電話番号

住所

E-mail



活性化します。そのため、これまでのロケ地を豊中市としてPRするなど、事後的にも観光客を「おもてなし」する取り組みを提案しています。

姉妹・兄弟都市交流

豊中市の都市交流は、カリフォルニア州サンマテオ市と50周年を迎え、沖縄市と40周年を迎えます。両市との交流は、スポーツや伝統芸能を通じ、市民のみなさんによって、長年にわたって培われてきました。

サンマテオ市とのご縁は、豊中市を訪れた留学生です。海外都市交流は全国で1,600件を超えています。50年の歴史ある交流は71組しかありません。

沖縄市(当時のコザ市)とのご縁は、豊中市に住む沖縄戦の戦没者遺族へ霊石とハイビスカスが送られたことです。その後、本土復帰前にコザ市職員をのべ100人以上、豊中市が研修のために受け入れました。都市交流は互いの「おもてなし」の心の結実です。